

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | 定期受診以外での外出がほぼ行えていない。GHから外の庭に出ることすら、ほとんど行えていない。個別ケアで外出する機会を作ろうという意識が職員の中で極めて低い。個別での外出は限られた利用者になっている。 | ・利用者の行きたいところへ、1対1の個別ケアで外出支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昔よく出かけた場所や、利用者の趣向を本人や家族から聞き取りを行う。 ・聞き取りを行った内容を個々のケアプランへ反映させる。 ・担当を決め、外出企画書を作成しご家族の了承を得る。 ・スーパーへの買い出し等も、職員一人で動くのではなく、利用者一人を連れて2人で買い物に行く。 ・地域の行事に、利用者と職員で参加できるように自治会に働きかけを行い自治会から理解を得る。 | 6ヶ月 |
| 2 | 29 | 地域との交流は行えておらず、地域の地域資源にどのようなものがあるのか職員は知らない。GHIに入居すると、住み慣れた地域との隔離が目立っている。 | ・利用者が住んでいた地域の社会資源やGHの周りの社会資源を知り、活気や楽しみをもって利用者が日々の生活が送れるよう支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源とは何か…を学ぶ。 ・職員は、利用者が住んでいた自宅付近にある社会資源を知るために自宅付近を歩く。 ・GHのある地域を歩き、利用者と一緒に参加、もしくは一緒に出掛けられる場所を把握し共有する。 ・利用者の趣味趣向を把握し、それに合った社会資源に利用者が参加できるように、職員は地域の自治会や施設の運営推進会議に参加し、地域の人との意見交換を行う。 | 12ヶ月 |
| 3 | 35 | 日中避難訓練は行えているが、職員数の少ない夜間帯の避難訓練は行えていない。 | ・夜間帯の災害を想定した避難訓練を実施し、具体的なマニュアルの作成を行う。 | ・夜勤者会議で火災時の避難について意見交換をし、夜間帯の避難訓練のマニュアル作成。 | 6ヶ月 |